

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	2,298	1,551	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	18,853	2,309	11,253	0
事業費計		(千円)	18,853	4,607	12,804	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	0.95		
		時間外勤務 (時間)	230.00	427.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	6,217	7,495		
事業コスト		(千円)	25,070	12,102		

R02年度当初積算根拠	収益的支出-1-1-5 総係費 委託料 (汚水処理事業広域化・共同化調査検討業務委託料) 3,894千円
	資本的支出-1-1-1 管路建設改良費 委託料 (公共下水道事業全体計画及び変更認可策定業務委託料) 8,910千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4 計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	2 今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2 継続して実施する必要がある。

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	939 公共下水道建設事業							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部下水道整備課 工務係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	03-010202-11 公共下水道建設に要する経費			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分	事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画	霞ヶ浦常南流域下水道関連つくば市公共下水道事業認可等				<input type="checkbox"/> 実行			
					<input type="checkbox"/> 評価・検証			
根拠法令	下水道法			事業体制	一部委託			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
市民の安全で快適な生活環境の確保及び公共水域の水質汚濁の防止				・事業計画地内の設計委託および工事の施工				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 下水道事業認可区域の未整備箇所を整備 枝線管渠新設工事 延長L=320m (新牧田地内) 舗装復旧工事 A=1,1170㎡ (柳橋地内) 管渠実施設計業務委託 延長L=200m (小野崎地内) 公共マス設置工事一式 				事業を計画していた下水道事業認可区域の下記地区を整備した。 ・枝線管渠新設工事 延長L=408m (新牧田地内、玉取地内、大曾根地内、) ・舗装復旧工事 A=1,153㎡ (榎戸地内) ・管渠実施設計業務委託 延長L=270m (小荃、六斗地内) ・公共マス設置工事 (59箇所)				
成果				課題				
公共下水道の整備により、公共用水域の保全に寄与することができた。				発注した工事において、業者の提出する写真等の成果物にバラつきが見られた。				
改善目標 (R02年度にむけて)								
業者に工事を発注する際には、成果物を提出する際の注意点をあらかじめ指示し、質の高い成果物を得られるよう目指す。								
指標の推移								
1	指標名	下水道普及率 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	82.1	82.5	82.9	84.1	84.5	84.9	85.3
	実績	82.3	82.8	83.7	84.1	84.7	85.1	0.0
	指標の概要	普及率 = (供用人口 / 行政人口) × 100						
2	指標名	(%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	5,060	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	42,300	32,200	55,500	0
	その他	(千円)	27,105	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,650	32,261	25,172	0
事業費計		(千円)	76,115	64,461	80,672	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	111.00	143.10		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,511	4,423		
事業コスト		(千円)	80,626	68,884		

R02年度当初積算根拠	下水道事業資本的支出		
	委託料		
	実施設計委託料(単独)		2,992千円
	新設工事請負費		
	枝線管渠新設工事 (単独：起債対象)		53,097千円
	枝線管渠新設工事 (単独：起債対象外)		19,800千円
	舗装復旧工事 (単独：起債対象)		2,396千円
補償費、修繕費外		2,387千円	

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	940 特定環境保全公共下水道建設事業							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部下水道整備課 工務係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	03-010203-11 特定環境保全公共下水道建設に要する			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分	事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画	霞ヶ浦常南流域下水道関連つくば市公共下水道事業認可等			市民参加	<input type="checkbox"/> 実行			
					<input type="checkbox"/> 評価・検証			
根拠法令	下水道法			事業体制	一部委託			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
市民の安全で快適な生活環境の確保及び公共水域の水質汚濁の防止				・事業計画地内の設計委託及び工事の施工				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 下水道事業認可区域の整備 下水道管渠新設工事 延長L=10,920m (新田、野手、豊里グリーンタウン、佐、五斗蒔、梶内、北中島、新白水、上作谷、上菅間、下原、稲岡、入会団地) 管渠実施設計委託業務 延長L=7,000m (真瀬新田地内) 公共マス設置一式 				<ul style="list-style-type: none"> 下水道事業認可区域の整備 下水道管渠新設工事 延長L=7,997m (新田、野畑、豊里グリーンタウン、佐、五斗蒔、梶内、北中島、新白水、上作谷、上菅間、下原、稲岡、入会団地) 管渠実施設計委託業務 延長L=2,916m (真瀬新田、小野崎、篠崎地内) 公共マス設置 (67箇所) 				
成果				課題				
公共下水道の整備により、公共用水域の保全に寄与することができた。				管渠布設工事については、資料などで調査は行ったが、埋設物破損事故が起きてしまった。				
改善目標 (R02年度にむけて)								
工事着工前に各関係機関との協議、調整及び現地の状況によっては、必要に応じて試掘調査等を十分に行う事で、埋設物破損事故を未然に防止する。								
指標の推移								
1	指標名	下水道普及率 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	82.1	82.5	82.9	84.1	84.5	84.9	85.3
	実績	82.3	82.8	83.7	84.1	84.7	85.1	0.0
	指標の概要	普及率 = (供用人口 / 行政人口) × 100						
2	指標名	(%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	134,525	87,628	143,990	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	803,800	428,000	671,700	0
	その他	(千円)	81,210	0	0	0
	一般財源	(千円)	794	57,691	74,513	0
事業費計		(千円)	1,020,329	573,319	890,203	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	3.40	3.40		
		時間外勤務 (時間)	222.00	810.90		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	24,545	25,059		
事業コスト		(千円)	1,044,874	598,378		

R02年度当初積算根拠	下水道事業資本的支出1-1-1					
	設計委託料					
		実施設計委託料(単独)	41,976千円			
		下水道工事監理委託料(単独：起債対象)	44,000千円			
	新設工事請負費					
		幹線管渠新設工事(補助)	287,980千円			
		幹線管渠新設工事(単独：起債対象)	460,955千円			
		幹線管渠新設工事(単独：起債対象外)	29,920千円			
		舗装復旧工事(単独：起債対象)	23,983千円			
		補償費、修繕費外	1,389千円			

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	41,000	39,700	125,000	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,200	4,207	5,178	0
事業費計		(千円)	42,200	43,907	130,178	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	20.00	36.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,462	1,446		
事業コスト		(千円)	43,662	45,353		

R02年度当初積算根拠	資本的支出 1-1-4 流域下水道費 負担金 霞ヶ浦常南流域下水道建設事業負担金 130,178千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	200	1,600	1,600	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	313	311	302	0
事業費計		(千円)	513	1,911	1,902	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	20.00	36.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,462	1,446		
事業コスト		(千円)	1,975	3,357		

R02年度当初積算根拠	資本的支出 1-1-4 流域下水道費 負担金 小貝川東部流域下水道建設事業負担金 1,902千円					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	943 つくばエクスプレス関連公共下水道に要する経費								
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部下水道整備課 業務係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	03-010205-11 つくばエクスプレス関連公共下水道に				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分	事業期間					<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画	霞ヶ浦常南流域下水道関連つくば市公共下水道事業認可					<input type="checkbox"/> 実行			
						<input type="checkbox"/> 評価・検証			
根拠法令	下水道法				事業体制	職員のみ			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
市民の安全で快適な生活環境の確保と、河川や湖沼等の公共用水域の水質保全を図るため。					島名福田坪地区及び上河原崎中西地区土地区画整理事業に伴う公共下水道事業の受委託に関する協定を茨城県と締結し、島名福田坪地区及び上河原崎中西地区土地区画整理事業の下水道整備を推進する。				
評価									
事業計画					活動実績				
6月 茨城県との受委託協定締結をし、島名福田坪地区及び上河原崎中西地区土地区画整理事業の下水道整備を推進する。 R元年度 当初予算額 1,931,000千円 H30年度繰越協定額 394,721千円					6月 茨城県（島名福田坪、上河原崎・中西）との受委託協定締結：988,778千円 12月 茨城県（島名福田坪、上河原崎・中西）との受委託協定締結(変更)：変更後1,078,778千円 R2.3月 茨城県（島名福田坪、上河原崎・中西）との受委託協定R元年度終了分516,479千円を決定し、R2年度へ繰越の変更協定を締結した。（繰越額562,299千円） H30年度繰越事業を完了した。				
成果					課題				
茨城県との受委託協定を締結し、 島名・福田坪地区 汚水：33.4ha、雨水：48.6ha 上河原崎・中西地区 汚水：11.3ha、雨水：11.8ha の整備し、市民の良好な生活環境の保全に寄与することができた。									
改善目標（R02年度にむけて）									
指標の推移									
1	指標名	下水道整備率 (%)					成果指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	75.4	77.9	80.3	82.8	85.2	87.7	93.4	
	実績	75.4	78.8	83.8	86.5	87.7	91.2	0.0	
	指標の概要	つくばエクスプレス沿線開発地区整備率＝（整備面積/認可面積）×100							
2	指標名	()							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	472,536	0	321,500	0
	県支出金	(千円)	133,367	0	696,850	0
	地方債	(千円)	472,400	0	321,500	0
	その他	(千円)	109,118	0	570,150	0
	一般財源	(千円)	299	0	0	0
事業費計		(千円)	1,187,720	0	1,910,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	0.95		
		時間外勤務 (時間)	139.00	172.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,402	6,868		
事業コスト		(千円)	1,195,122	6,868		

R02年度当初積算根拠	資本的支出1-1-5 つくばエクスプレス関連公共下水道費 委託料 つくばエクスプレス関連公共下水道事業委託料 1,910,000千円					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	2,927,676	2,866,227	2,808,666	0	
事業費計		(千円)	2,927,676	2,866,227	2,808,666	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.10			
		時間外勤務 (時間)	0.00	18.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	2,118	724			
事業コスト		(千円)	2,929,794	2,866,951			

R02年度当初積算根拠	資本的支出 1-3-1 企業債償還金 企業債償還金 財政融資資金：1,124,563千円 簡易生命保険資金：441,679千円 地方公共団体金融機構：1,017,773千円 市中銀行：154,411千円 茨城県：70,240千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	945 地方債利子償還事務								
戦略プラン						担当部課 係名	生活環境部下水道整備課 業務係		
総合戦略						新規・継続	継続		
						事業分類	任意的事務		
予算科目	03-020102-11 利子の償還に要する経費						<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間				市民参加			
個別計画	霞ヶ浦常南流域下水道関連つくば市公共下水道事業認可等								
根拠法令	下水道法					事業体制	職員のみ		
						市長公約			
概要									
事業の目的					事業の概要				
市債の償還に係る事務処理を行い、安定した財政運営を図る。					借入機関ごとに対する市債利子の返済事務を行う。				
評価									
事業計画					活動実績				
令和元年度分利子を返済する。 5月、11月 市中銀行：2,425,359円 9月、3月 財政融資資金：374,883,915円 簡易生命保険資金：93,934,099円 地方公共団体金融機構：245,862,504円 市中銀行：817,962円 5月末 ・平成30年度財政融資資金起前分の通知により利子額確定。・H29年度繰越・H30年度現年分の銀行借入の契約をし、利子額の決定をする。					・令和元年度返済利子（上期・下期返済額） 財政融資資金：374,883,915円 簡易生命保険資金：93,934,099円 地方公共団体金融機構：245,862,504円 市中銀行：3,243,321円 ・市債の利子返済 総額717,923,839円				
成果					課題				
適切な起債管理に努め、計画的な償還を実施することができた。									
改善目標（R02年度にむけて）									
指標の推移									
1	指標名	()							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	()							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	777,587	717,924	667,916	0
事業費計		(千円)	777,587	717,924	667,916	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	18.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,118	724		
事業コスト		(千円)	779,705	718,648		

R02年度当初積算根拠	収益的支出 1-2-1 支払利息及び企業債取扱諸費 企業債利息 財政融資資金：361,155千円 簡易生命保険資金：78,257千円 地方公共団体金融機構：226,654千円 市中銀行：1,850千円
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	14,946	4,915	13,217	0
事業費計		(千円)	14,946	4,915	13,217	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.65	1.00		
		時間外勤務 (時間)	112.00	162.50		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,865	7,183		
事業コスト		(千円)	19,811	12,098		

R02年度当初積算根拠	収益的支出1-1-4業務費	報償費(受益者負担金一括報奨金)	6,118千円
		印刷製本費(印刷製本費)	15千円
		委託料(受益者負担金賦課徴収業務委託料)	10,120千円×0.7

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	947 受益者負担金徴収事業								
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部下水道整備課 業務係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	03-010101-14 受益者負担金賦課徴収事務に要する経				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間							
個別計画									
根拠法令	都市計画法、研究学園都市計画つくば市下水道事業受益者負担金条例					事業体制	職員のみ		
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
<p>公共下水道の供用を開始した区域内の受益者に対し、受益者負担金を賦課・徴収することにより、未整備地区との不公平感を解消し、整備費用の一部を回収する。</p>					<p>・下水道事業受益者負担金、分担金を徴収する。 ・未納・滞納者に向けて、督促・催告状を発送する。 滞納者に対しては、自宅訪問・滞納整理（徴収・納付相談・分納誓約等）を実施する。 ※行政改革アクションプラン「41 下水道受益者負担金の滞納額の縮減」該当事業</p>				
評価									
事業計画					活動実績				
4月 前年度第4期分督促状発送、収納 5月 納付書、口座振替通知書発送 6月 第1期分収納処理 7月 第1期分督促状発送、収納 8月 過年度分未納者催告書・納付書発送、収納 9月 第2期分収納処理、滞納整理開始 10月 第2期分督促状発送、収納 12月 第3期分収納処理 1月 第3期分督促状発送、収納 3月：不納欠損処理					4月 H30年度第4期分督促状発送(171件) 5月 H30年度不納欠損処理(33件、1,112千円)、 R1年度納付書・口座振替通知書発送(1,119件) 6月～7月 第1期分収納処理、督促状発送(200件) 8月 過年度分未納者催告書・納付書発送(192件) 9月～10月 第2期分収納処理、督促状発送(162件) 8月～ 企業会計移行に伴う契約事務、その他調査 12月～1月 第3期分収納処理、督促状発送(161件) 1月～2月 訪問徴収・納付相談による滞納整理(102件)				
成果					課題				
<p>現年度の徴収率は目標値に比べて低い結果となったが、滞納繰越分の収納率は、督促催告や滞納整理により、目標値を上回る結果となった。昨年度の改善目標であった、個別の徴収案件の資料を迅速に引き出せるような管理体制を構築するため、R1年度に発生した個別案件について、それぞれのまとめ資料を作成した。</p>					<p>賦課の段階で負担金や下水道工事に不満を持つ受益者が滞納し続け、滞納整理の段階で不満等があったことが判明する事案があったため、滞納者の滞納理由について、賦課後なるべく早い段階で、明らかにし、徴収に当たっての対応や受益者の不満に対して、早い段階で解消する必要がある。</p>				
改善目標（R02年度にむけて）									
<p>現年分だけの未納であっても、滞納整理等で訪問調査等を行うことで、滞納理由等について賦課後の早い段階で把握し、徴収に当たっての対応や受益者の不満に対して、早い段階で解消することに努める。</p>									
指標の推移									
1	指標名	受益者負担金徴収率（現年度分）					（ % ）		成果指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	92.0	93.4	94.4	94.5	94.5	94.5	94.5	
	実績	93.4	94.3	96.2	96.0	95.2	88.9	0.0	
	指標の概要	受益者負担金、受益者分担金の現年度分の合計徴収率（小数点第2以下四捨五入） ※行政改革アクションプラン「41 下水道受益者負担金の滞納額の縮減」該当指標							
2	指標名	滞納繰越分収納率					（ % ）		成果指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	
	実績	10.2	8.8	14.8	20.2	16.6	17.2	0.0	

	指標の概要	受益者負担金、受益者分担金の滞納繰越分の合計徴収率（小数点第2以下四捨五入） ※行政改革アクションプラン「41 下水道受益者負担金の滞納額の縮減」該当指標						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,331	766	3,316	0
事業費計		(千円)	3,331	766	3,316	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.55	1.00		
		時間外勤務 (時間)	112.00	162.50		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,160	7,183		
事業コスト		(千円)	7,491	7,949		

R02年度当初積算根拠	収益的支出1-1-4業務費	手数料(受益者負担金口座振替手数料)	30千円
		委託料(受益者負担金賦課徴収業務委託料)	10,120千円×0.3
		使用料及び賃借料(シーラー(紙折機)賃借料)	200千円
	収益的支出1-3-1過年度損	過年度損益修正損(受益者負担金過誤納還付金)	50千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	